

モリブデンの国際価格

14年半ぶり高値 欧州などで供給不安

高張力鋼やステンレスの副原料となるモリブデンの国際価格が今週、14年半ぶりの高値をつけた。供給不安が解消されない中、欧州市場で価格が上昇。これがアジア市場にも波及した。旧正月(春節)に入っている中国では目立った動きは少ないものの、市場関係者の間では、春節明けの動向への関心が高まっている。

国際価格は今週、34ドル(モリブデン純分価格)を突破。08年8月以来、14年半ぶりの高値をつけた。同価格は年明けから上昇基調が鮮明となっていたが、供給不安が解消されない中、先週末に比べ約7%上昇した。三酸化モリブデンの上昇を受けて、主にステンレス向けとなるフェロモリブデンも急激に上昇。足元の価格はドル換算で84ドル強(純分価格)に

跳ね上がっている。中国は今週、春節で企業活動がほぼ止まっ

ている。春節中、モリブデン価格は動意薄となることが多いが、今年は異例の展開。構造的な供給懸念が解消されていないため、中国の動向にかかわらず、激しい値動きとなっている。特に欧州市場では、ペルー産モリブデンの供給不安が台頭しており、引き合いが減らない状況だ。

モリブデンの供給不安はすぐに解消されない可能性が高いが、市場では「当面は春節明

けの中国の動向を見守る必要がある」(アドバンストマテリアルズ(鉄部部長)など慎重な見方が多い。)

ヤパンの松村洋・合金

